

秋の夜長に 笠倉出版社 古生物本のススメ！

ブース
A-19で
お待ちして
います！

あなたにぴったりの古生物本は？

Start

時間をもてあましている

No

充実した毎日でも
たまには息抜きを！
古生物本全般
オススメです！

Yes

イベント減で「推し」に
会えていない……

No

長らく
帰省できていない

No

大好きな動物園にすら
行けていない……！

Yes

古生物界の推し
を探そう！



『ああ、愛しき古生物たち
—無念にも滅びてしまった彼ら—』
著・土屋健ほか

同郷※の古生物
とふるさとに想いを馳せる



『日本の古生物たち』
著・土屋健ほか ※化石発見場所

古生物動物園
へようこそ！



『パンダの祖先はお肉が好き!?
—動物園から広がる古生物の世界と進化—』
著・土屋健ほか

まずは生き延びる

切実に多様な意味で「生き延びること」について考
えさせられている2020-21年。はるかに長い年月
を生き延びた大先輩生物たちのフォルムから、いま
改めて、そのすばらしき「生存戦略」をまなぶ。



来場者
特典！

会場で上記古生物本をご購入の方は、著者(土屋健氏)の直筆サインを入れることも可能です！



『生きている化石図鑑
—すばらしき「名品」生物たち—』
著・土屋健
監修・芝原暁彦
イラスト・ACTOW

その他
理工書
生物本も
オススメ

飼育の教科書シリーズ



栽培の教科書シリーズ



ブース A-19 ではこのほかに特別価格本、
いま書店では見られない在庫僅少本なども販売！

笠倉出版社

〒110-8625 東京都台東区東上野 2-8-7 笠倉ビル URL: <https://www.kasakura.co.jp/>

ごあいさつ

このたびは博物ふえすていばる！7へのご来場
誠にありがとうございます。

博物ふえすていばる！は「博物」をテーマにすえて
科学、自然科学、考古学、天文学、古生物学、民俗学、歴史学など
博物学ゆかりの題材からなる創作、展示、研究を販売・発表できるイベントで
2014年の初開催から今年で8年目になります。

昨年の新型コロナウイルスの影響による延期から1年
会場の科学技術館とも綿密に打ち合わせを重ね、
今回は出来得る限り万全の対策をとったの開催となります。

入場券の電子化やマスク着用・手指消毒など
ご参加の皆様には大変なご不便をおかけ致しますが
この先も展示販売イベントを続けていくためには運営、出展者、参加者の全員が
一丸となって感染症対策を徹底する必要があります。
例年とは違った開催をご理解の上でイベントを楽しんでいただけましたら幸いです。

本イベントが皆様にとって充実した時間になることを
心から願っております。

株式会社 マッチスティック一同

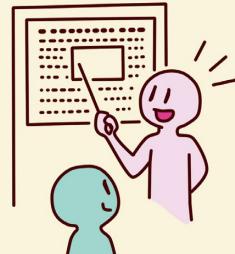
博物ふえすていばる！特別企画

ガクモンからエンタメ☆について

学問や研究のエッセンスが
詰まった作品の解説



様々な学問や研究の紹介



ゲームや実物に触れて
学べる展示



「ガクモンからエンタメ☆」とは既存の学問や研究から影響を受けた作品・またはそれらを紹介する作品を各出展者が展示・解説・販売する博物ふえすていばる!の独自企画です。

「博物・学問」を楽しく魅せられる出展者さんに作品を作ってもらい、一般参加の方に「ガクモンはエンターテイメントになるんだ!」と伝えられれば大成功です。

どうぞ「難しそう…」という遠慮を捨てて、面白がって近寄ってみてください。

きっと皆さんもガクモンのトリコになるはずですよ!



このポップのあるブースはガクモンからエンタメ☆参加ブースです。

オホーツク文化

—あなたの知らない古代—

白鳥兄弟(高橋 健)

「土偶マイム」というパフォーマンスをしている白鳥兄弟と申します。博物ふえすていばるの会場では毎年土偶マイムを演じてきましたが、今回は誌上での参加ということで、土偶や縄文時代からは少し離れて、「オホーツク文化」を取り上げてみたいと思います。

みなさんはこの「オホーツク文化」という名前を聞いたことがあるでしょうか?あまり聞きなれないかもしれません、縄文文化などと同じように日本列島にかつて存在した先史文化の一つであり、とてもユニークで面白い文化なのです。

オホーツク文化は、北海道のオホーツク海沿岸を中心に、5世紀から9世紀頃に栄えた文化です。日本史の時代区分为いえば、古墳時代から奈良時代、平安時代にかけてということになります。実は北海道の考古学では、弥生時代や古墳時代といった時代区分は使われません。その代わりに、^{ぞくじょうもん}縄縄文時代や^{さつもん}擦文時代という北海道独自の区分が使われています。オホーツク文化は、縄縄文時代の終わり頃から擦文時代の半ばにかけて、北海道の中でも一部の地域に展開した文化だということになります。

北海道におけるオホーツク文化の分布範囲は、道北から道東にかけてのオホーツク海沿岸を中心とする地域で、一部日本海沿岸にも及んでいます。ただしオホーツク文化の分布範囲は北海道だけではなく、サハリンから千島列島にまで及んでいます(図1)。このように、現代の国境という枠組みを超えて分布していた古代文化がオホーツク文化なのです。

オホーツク文化の遺跡は、基本的に海岸から1km以内に立地しています。遺跡から見つかる動物の骨の研究や、人骨や土器付着物の理化学的分析によっても、海産資源に極端に依存していたことがわかっています。竪穴住居は大型で長軸が15mを超えるものもあり、五角形ないし六角形をしていることが特徴です。一軒の家に複数の家族が暮らしていたと考えられています。住居の中央には石囲いの炉を設け、その周りにコの字形に粘土を貼って床にしています(図2)。

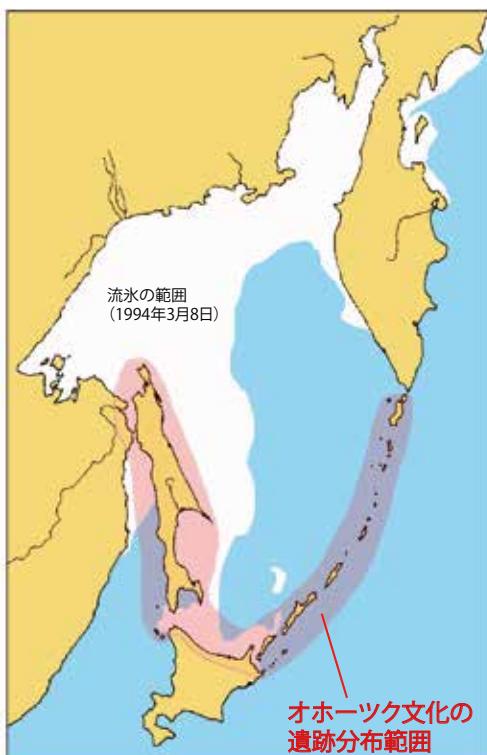


図2 モヨ貝塚9号竪穴の完掘状況
東京大学常呂実習施設提供
入れ子状に複数の竪穴が重複している。

図1 オホーツク文化の遺跡分布範囲
東京大学常呂実習施設提供



図3 モヨロ貝塚7号竪穴の骨塚
東京大学常呂実習施設写真提供



図4 トコロチャシ跡遺跡7号竪穴の骨塚
東京大学常呂実習施設写真提供

この竪穴住居の一角には、骨塚^{こづづか}と呼ばれる遺構が残されます。図3は網走市モヨロ貝塚で戦後まもなくの1947年（昭和22年）に発掘された7号竪穴の調査風景ですが、壁側にクマ頭骨が積まれているのがわかります。このように住居内に動物の骨を積み上げた遺構が骨塚で、一種の祭壇だと考えられています。単に食べかすを捨てていた場所というわけではなく、特定の種や特定の部位の骨を集めていることが多く、特にクマの頭が目立ちます。オホーツク人は主に海の資源を利用して生活していましたが、その儀礼の対象となっていたのは、クマが中心だったのです。

1998～99年に発掘調査された北見市トコロチャシ跡遺跡の7号竪穴では、骨塚から110頭のヒグマの頭骨が検出されました（図4）。これだけの数のヒグマを短期間に獲ったとは考えにくいくことから、かなりの期間にわたって集積されたものだと思われますが、それでも大変な数であることは間違いないでしょう。数十頭のヒグマ頭骨から成る骨塚は、他にもいくつかの遺跡から見つかっています。

北海道でクマの儀礼といえばまず思い起こされるのが、アイヌのイオマンテ（クマ送り・クマ祭り）です（図5）。これは、春に穴籠りをしているヒグマを狩り、仔グマがいる場合は集落まで連れて帰り、秋まで飼育してから盛大な祭りを行って天に送り返す（殺す）というものです。この儀礼はアイヌ民族の精神文化の根幹を成すものだと考えられ、「アイヌ文化の神髄」と呼んだ研究者もいます。狩りをしたクマを「送る」という儀礼は北方地域の狩猟民の間に広くみられますが、こうした「仔グマ飼育型」のクマ儀礼は、アムール河流域からサハリン、北海道という北東アジアの限られた地域にだけみられる特殊なもので、その起源や発達過程が議論されてきました。



図5 『蝦夷島奇観』秦憶丸（氏家厚時写）
国立国会図書館デジタルコレクションより





図6 骨製クマ彫像
トコロチャシ跡遺跡1号竪穴出土
東京大学常呂実習施設蔵・写真提供



図7 角製クマ彫像
トコロチャシ跡遺跡7号竪穴出土
東京大学常呂実習施設蔵・写真提供

そこで問題になるのが、骨塚に象徴されるオホーツク文化のクマ儀礼の内容です。果圖オホーツク文化のクマ儀礼は、仔グマの飼育を伴う「仔グマ飼育型」だったのでしょうか？この問題に対してはいくつかのアプローチが考えられますが、ここではオホーツク文化の遺跡から出土するクマ彫像に注目してみたいと思います。

オホーツク文化の遺跡からは、動物をモチーフにした彫像の類が多く見つかります。土製のものもありますが、骨や角、牙製のものが多い点が特徴です。単独の彫像もありますが、釣針や匙などの道具の端部や表面に線刻や浮彫で表現されることもあります。このような動物像の存在は、オホーツク人が何らかの動物信仰をもっていたことを反映しているのではないかと考えられています。

動物像のモチーフとなる動物はクマが最も多く、全体の半分程度を占めています。図6～8はいずれもトコロチャシ跡遺跡から出土したクマの彫像です。図6は四本足で立つクマを単独で表現した彫像で、トドの骨製とされています。図7は鹿角製品の端部に彫刻されたクマの頭部です。今回注目したいのは、やはり角製のクマ彫像破片である図8です。



図8 角製クマ彫像
トコロチャシ跡遺跡8号竪穴出土
東京大学常呂実習施設蔵・写真提供

8号竪穴の骨塚から出土したこの資料は、長さ3.3cmと非常に小さなものですが、クマの顔つきや体つきが上手く表現されています。

この彫像で注目すべき点は、背面にみられる浮彫です。首の周りに1条、背筋の右側に2条の浮線が施されていて、首輪と引き縄を付けているように見えます。クマに首輪と引き縄をつけていたとすれば、野生のクマでそのような状況を想定することは難しいので、この彫像は飼育されたクマを表現した可能性が高いといえます。この資料は、小さなかけらではありますが、オホーツク文化において仔グマ飼育型のクマ送りが行われていたことを示す、有力な証拠なのです。



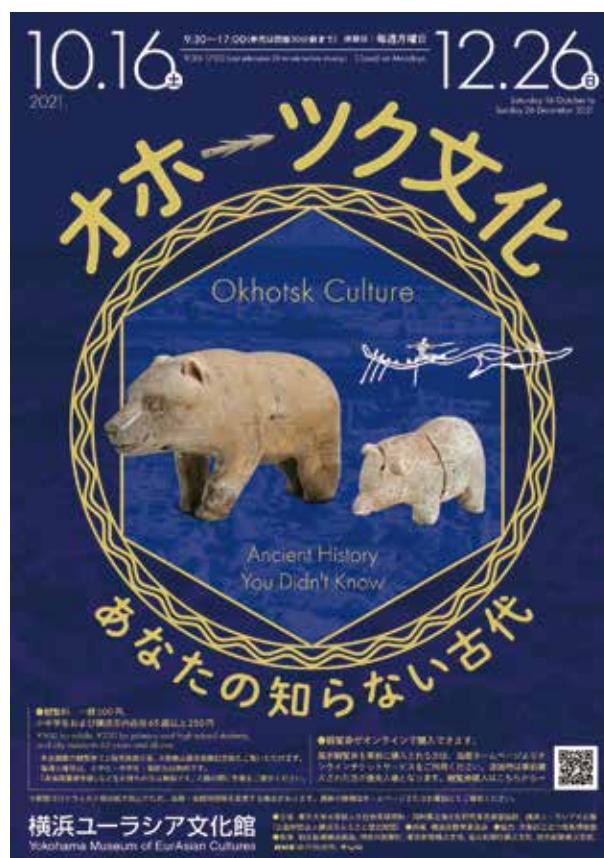
図9 牙製婦人像
モヨロ貝塚出土
東京大学文学部列品室蔵

るものがあります。図9はモヨロ貝塚の10号竪穴西側の貝層から出土したもので、マッコウクジラの歯で作られています。頭や腕が欠けていますが、胸のふくらみやスカート状の衣服を着た下半身が表現されています。この牙製婦人像は、これまでに10例余りが見つかっているだけで、非常に珍しい遺物です。

横浜ユーラシア文化館では、2021年秋に特別展『オホーツク文化—あなたの知らない古代』を開催します。本州初公開の資料を含む600点を超える資料を展示します。ここで紹介できたトピックは展示全体のほんの一部にすぎません。この文章を読んで少しでもオホーツク文化に関心を持たれた方は、ぜひ足をお運びください。

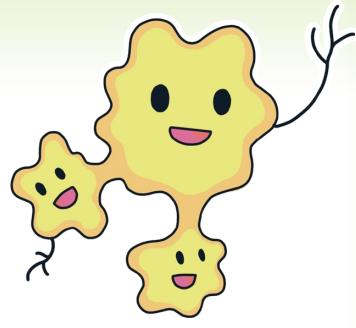
ところで、このようにオホーツク文化では多くの動物像を作っていましたが、実は人間の形をした像を作ることは少なかったのです。特に土製の人形は全く見つかっていません。この点は、たくさんの土製の人形=土偶を残した縄文文化とは大きく異なっています。オホーツク文化でも土器はたくさん作っていたので、作ろうと思えばその技術はあったはずですが、土の人形を作ることはなかったのです。

オホーツク文化の遺跡から見つかるひとがたの製品としては、牙製婦人像と呼ばれ



真正粘菌との遭遇

巨大で不思議な単細胞生物、真正粘菌の魅力はハンパない！



1 まるでSF映画のモンスター！

粘液のような体で縦横無尽に広がって動き回り、切り刻まれてもすぐ元通り……

そんな生き物はSF映画にしか出てこない？

あるいは顕微鏡でしか見られない？

いえいえ、こちらをご覧ください、図1

これは真正粘菌、(生物学的には変形菌と呼ばれる事が多い) 単細胞生物で現実世界に存在し肉眼でも見える大きさなんだ。人間の手と比較してもとっても大きい事がわかるでしょう？ 真正粘菌の特徴はなんと言ってもダイナミックかつ自由自在に動く所！時速数mm～数cmのスピードで、枝を伸ばしたり波のように広がったりしながら移動するよ。

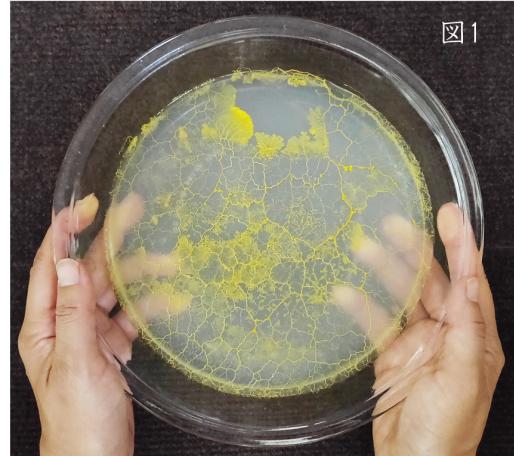


図1

2 「菌」 丸くけだ菌類じゃない！

こんな不思議な生き物は一体何の仲間だと思うかな？粘菌ってついているから菌類？ぱっと見はカビの様にも見えるよね。だけどカビは広がるだけで移動はしない。真正粘菌は今いる場所から別の場所に体を丸ごと移動できるんだ。この動き方、何かに似ていないかな？

体の形を自由に動かして移動する生き物といえば……

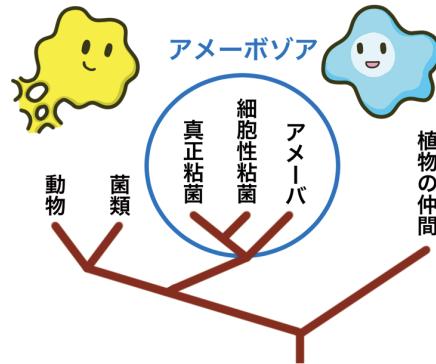
そう、アメーバだ！

真正粘菌はとても大きなくくりの中では

アメーバと同じグループ、

アメーボゾアの仲間に分類されているんだ。

この仲間に細胞性粘菌という別の種類の粘菌もはいっているよ。

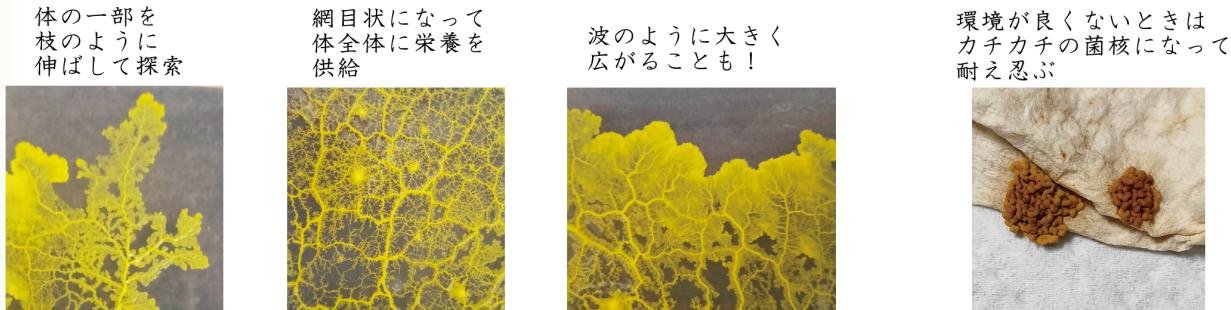


3 動きまわるよ！変形体

真正粘菌のネバネバの姿は「変形体」と呼ばれているよ。

自由に動けるから、エサを探して移動したり、強い光や乾燥した場所から逃げたりすることができるんだ。

どうにもお腹がすいたり乾燥した状態が続くと「菌核」という休眠モードの姿になって何年も耐えることも可能だよ。



さらに凄いのはその再生力！モジホコリという種類は

傷付けられたり、切り刻まれたりすると「原形質」

という細胞の中身が少し出ちゃうけど

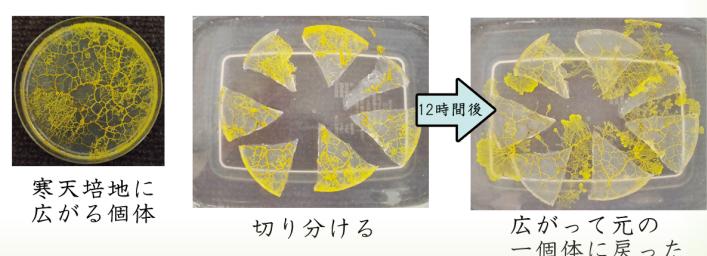
一時間もしないうちに傷口が塞がってしまう。

切り刻まれた断片はそのまま1個体として

生きていくこともできるし

断片同士が再会すればまた1つに戻ることだってできる。

こんな生き物他にはなかなかないでしょ？



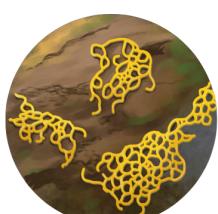
4 個性いろいろ子実体

真正粘菌の仲間は世界中に約1,000種類もいる！だけどネバネバの変形体の見た目はほとんど一緒、こんなのが見分けが付かないよ～！！！そもそもどうやって分類したの？色の違い？と、お悩みの方もいるかと思います。

そこで優雅に登場するのが「子実体」、真正粘菌の華とも言える存在だ。子実体は胞子を作るためのきのこのようなもので、ネバネバの変形体が何らかの条件で子実体に変身し、子孫を残すために胞子を飛ばすんだけどこの子実体の見た目が種類によってビックリするほど違うんだ！下の4種類を見てみよう、同じ生き物とは思えないほど色も形も変化に富んでいるでしょう？



マメホコリ
直径 1.5cm位
丸っこくて
ピンクや黄色



ヘビヌカホコリ
長さ 10cm位まで
こぼれたラーメン風
黄色やオレンジ



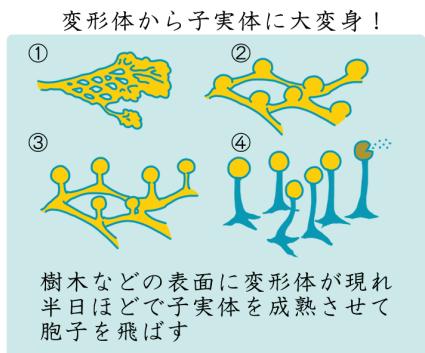
ルリホコリ
高さ 3mm位まで
柄つきの球体
青紫から黒



ムラサキホコリ
高さ 2cm位まで
束状で細い柄
暗い茶褐色

これなら初心者でも大まかな種類が判別できるね！
この子実体に魅了されて粘菌マニアになる人も多いんだって。

見た目だけでは
正確な区別は
できないから
専門的に種類を
特定するときは
胞子を光学顕微鏡で
観察するんだよ



5 真正粘菌に会いたい

真正粘菌は雑木林や山、場合によっては公園や裏庭など身近な場所にも潜んでいる。
でも変形体は光を嫌うため落ち葉や倒木の中などに隠れていて探すのは難しい。
初めての人は子実体の方を探してみよう！ちょっと腐りかけの丸太や切り株がホットスポットだよ。
他の生き物も生活しているから優しく、そっと探してあげてね。



倒木の表面にいたり…



落ち葉の隙間にいることも！

6 研究や実験の魅力

真正粘菌の細胞の性質はとても興味深いので、かつてはモジホコリという培養が比較的簡単な一種がモデル生物として細胞の研究に使われてきたけれど、遺伝子解析などが進む最新の生物学では需要が少なくなってしまった……。

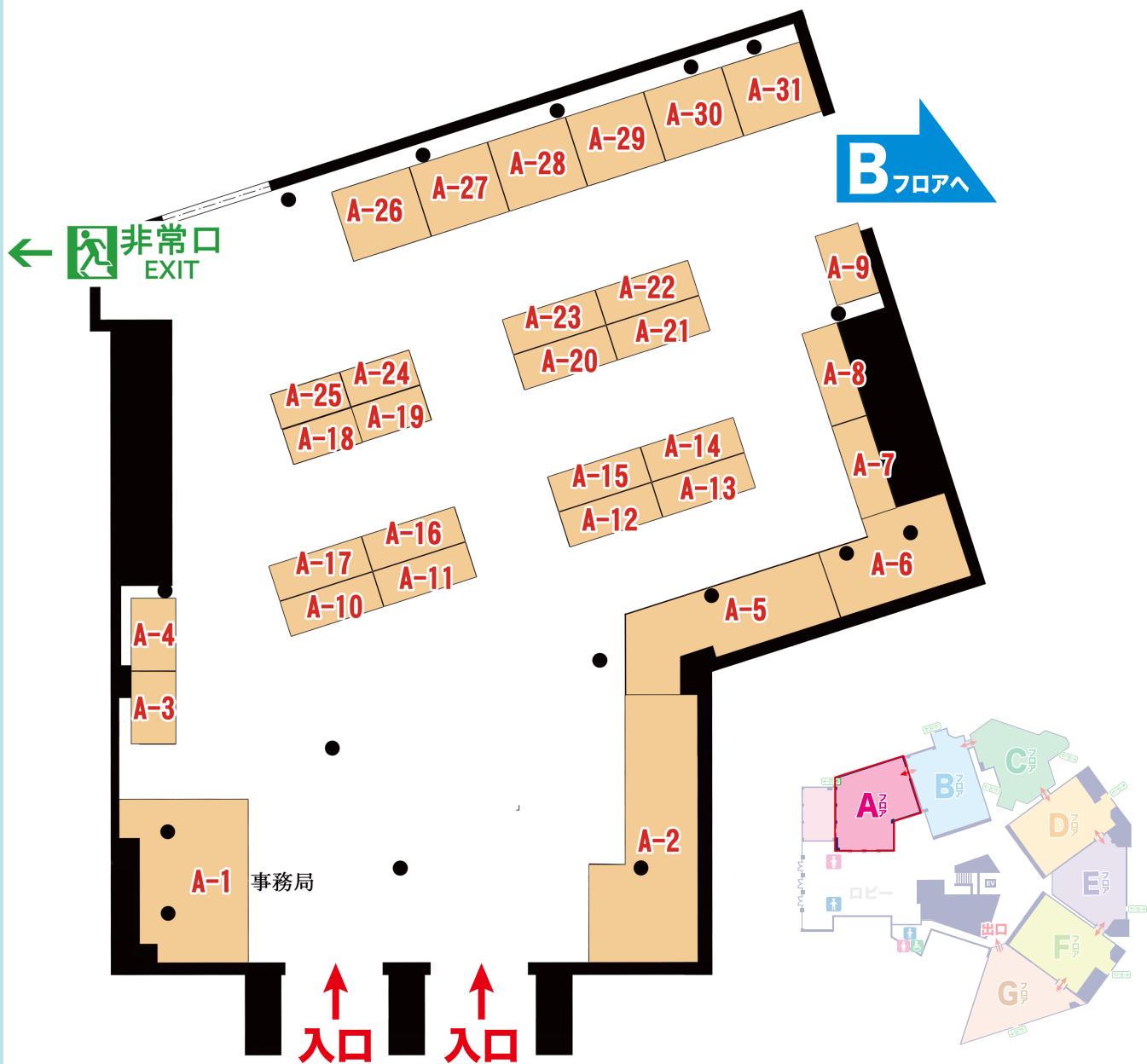


だけどなんと言っても面白く、楽しい姿に魅了され粘菌の研究をしている研究者もいる。
迷路を解く知性や粘菌コンピュータなど生物学とは少し違う方面での実験も話題となった。
そして野生生物としての真正粘菌の事は分かっていない事も沢山ある。
人類はもっともっと真正粘菌に注目してその魅力にハマるべきじゃないだろうか？

監修 矢島 由佳 (室蘭工業大学 大学院工学研究科)
画像・記事制作 博物ふえすていばる！パンフレット制作部



会場MAP・Aフロア

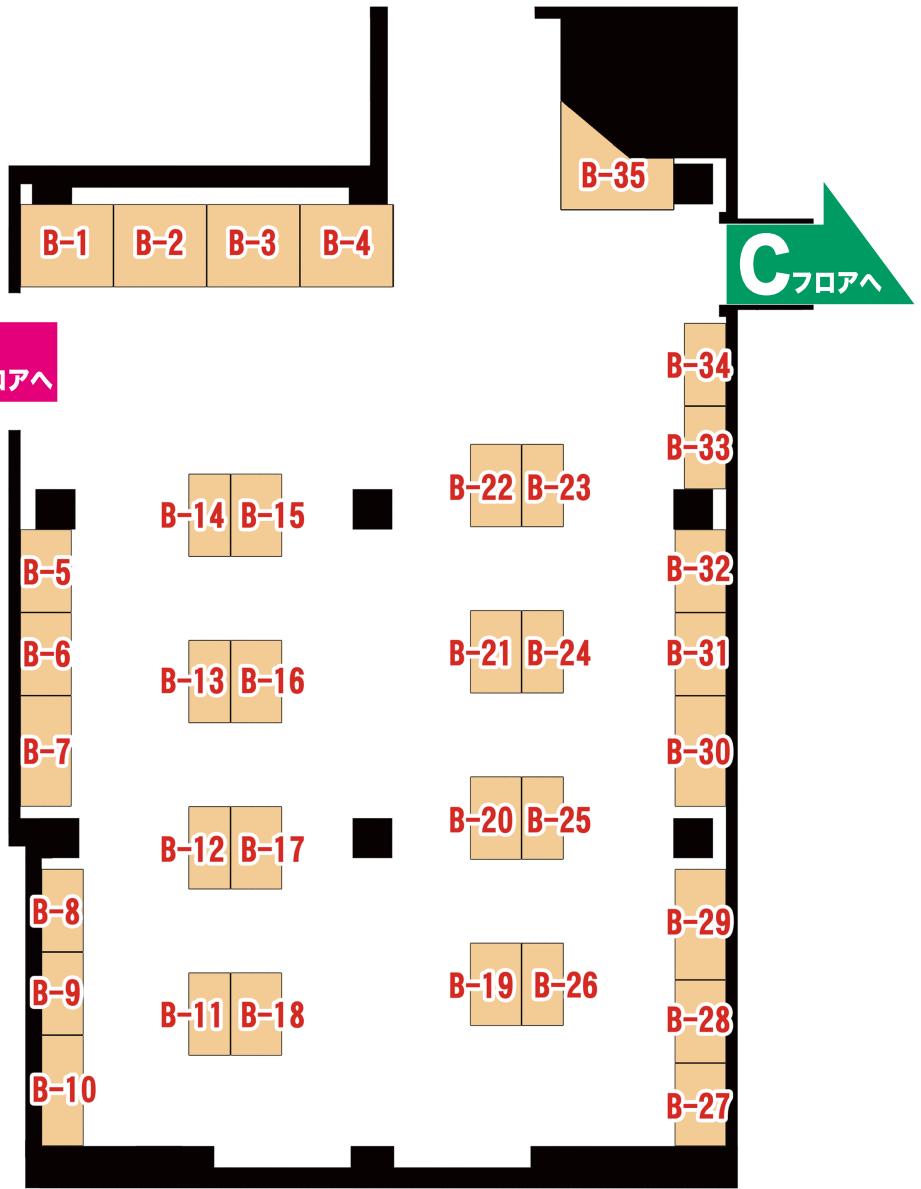
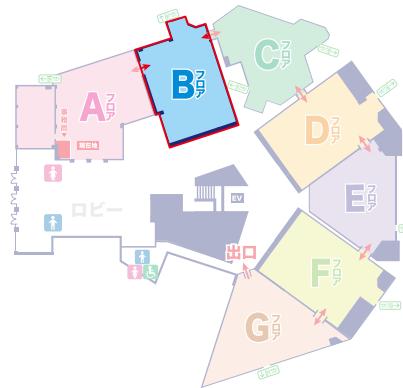


会場は全7フロアで構成されています。

- | | |
|--|-------------------------|
| A-1 事務局 | A-16 |
| A-2 恐竜・化石グッズの専門店 ふおっしる | A-17 ZUCKER |
| A-2 技術評論社
(恐竜・化石グッズの専門店 ふおっしるA-2にて委託販売) | A-18 |
| A-3 シンプルパッチsasa | A-19 笠倉出版社 |
| A-4 海珠堂 | A-20 |
| A-5 A-6 パイライトスマイル | A-21 vivo / 生物学画舫 |
| A-7 体の中の宇宙とミクロの映像 | A-22 A-23 仮説社 |
| A-8 正多面体クラブ & あうるの森 | A-24 A-25 |
| A-9 巨人の目幅と昆虫の目幅 -立体視の世界- | A-26 GreenFlash |
| A-10 淡水微生物図館 | A-27 A-28 |
| A-11 | A-29 |
| A-12 MODE DE GALAXIE | A-30 A-31 いきもの細密画アートグッズ |
| A-13 | |
| A-14 | |
| A-15 dubhe(ドゥーベ) | |

- | | |
|------|-------------------------|
| A-16 | A-17 ZUCKER |
| A-18 | A-19 笠倉出版社 |
| A-20 | A-21 vivo / 生物学画舫 |
| A-21 | A-22 A-23 仮説社 |
| A-22 | A-24 A-25 |
| A-23 | A-26 GreenFlash |
| A-24 | A-27 A-28 |
| A-25 | A-29 |
| A-26 | A-30 A-31 いきもの細密画アートグッズ |

会場MAP Bフロア

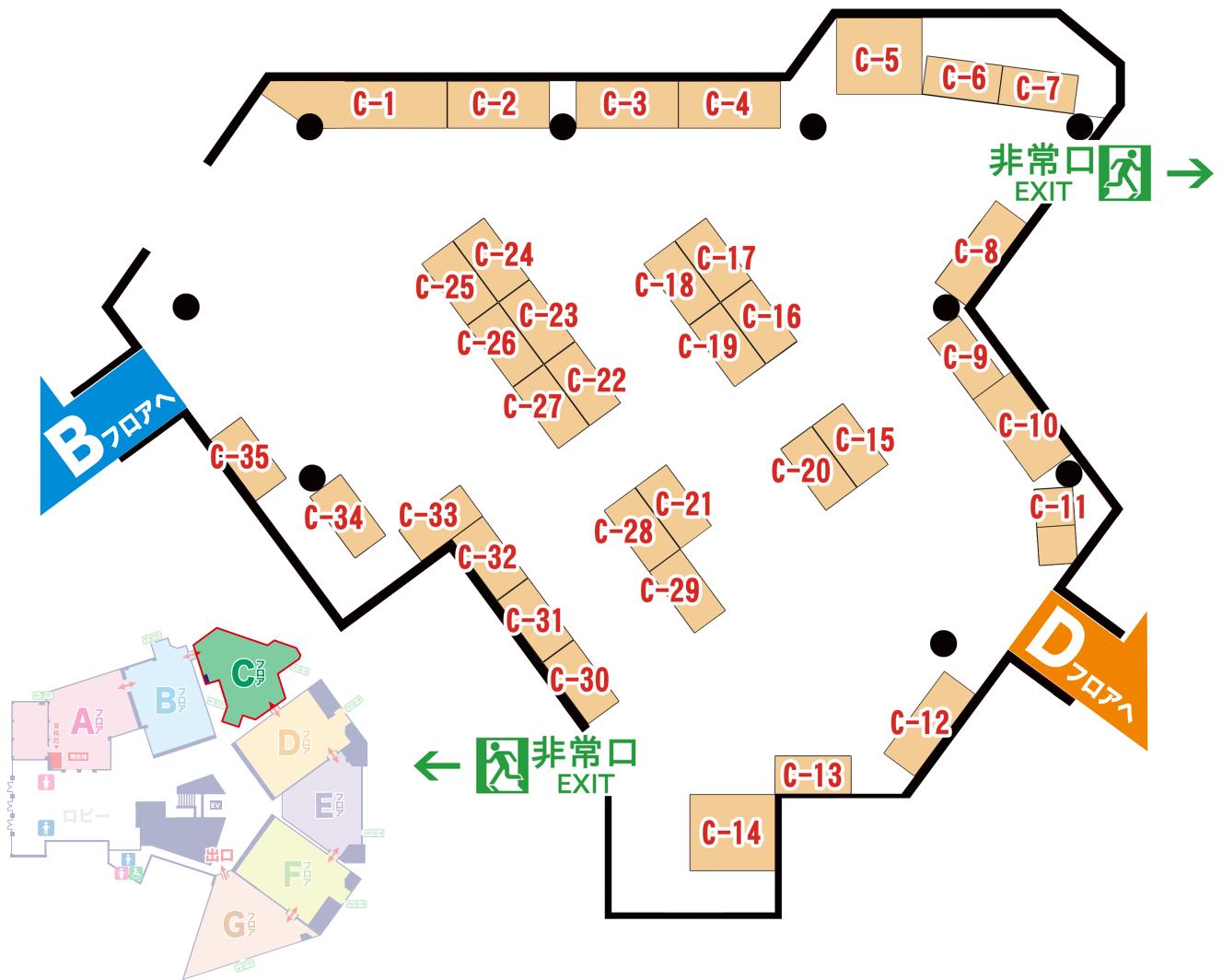


- B-1 工房西岡
 - B-2 CASA del DEGU
 - B-3
 - B-4 ロボット工房のらとりえ
 - B-5 charie
 - B-6 KABUTO
 - B-7 GEAD
 - B-8 七つ森(土曜出展)
 - B-8 ウシガエル屋と駄画紙屋(日曜出展)
 - B-9 WAVE TALE ~Atlantis~(土曜出展)
 - B-9 骨のある部屋(日曜出展)
 - B-10
 - B-11 明星堂
 - B-12 透明な世界
 - B-13 CHUPRO
 - B-14
 - B-15 我流切紙人
 - B-16 工房彩陶
 - B-17 羊毛フェルトあど～ちゃん
 - B-18
 - B-19 NOBchanchyn

- B-20 planevia
B-21 oba:oba + kerocco
B-22 てんとうや
B-23 イヌメモリ、ネコメモリ、ウサギメモリ(土曜出展)
B-23 縫月堂(日曜出展)
B-24 (土曜出展)
B-24 55ウォーキング44田(日曜出展)
B-25 実袖季のまつげ(土曜出展)
B-25 ぬくぐるみ工房(日曜出展)
B-26 はっぴーす(土曜出展)
B-26 Lepidopterite(日曜出展)
B-27
B-28 ぼぶず
B-29
B-30 鳥が好きだ
B-31 梅桃屋&ぐるりん
B-32 ねじ工房
B-33 ぱらぱらミクロ
B-34
B-35

※ブース名ブース数は変わる場合があります。

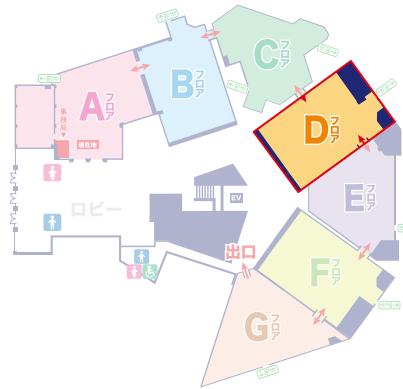
会場MAP・Cフロア



C-1 医療系雑貨生みたて卵屋
 C-2 栃木屋工房
 C-3 展翅屋工房
 C-4 クラゲマイスター★クラフト部
 C-5
 C-6 C-7 Mai.Yamashita
 C-8 Wolves&Me
 C-9 (土曜出展)
 C-10 平日美術館 (日曜出展)
 C-11 Effe*
 C-12 はる☆どり
 C-13 (土曜出展)
 C-14 BanMof (日曜出展)
 C-15 みのむし商店
 C-15 913WORKS (土曜出展)
 C-15 サザエハウス (日曜出展)
 C-16 中澄香織 (土曜出展)
 C-16 トリドリマルドリ (日曜出展)
 C-17 株式会社 文一総合出版 (土曜出展)
 C-17 3. 4. 4. 3 (日曜出展)
 C-18 帰ってきたまわるぎんのすけ (土曜出展)
 C-18 Yukianagi—ユキヤナギ— (日曜出展)
 C-19 妖毛thethe (土曜出展)
 C-19 kerofull (日曜出展)

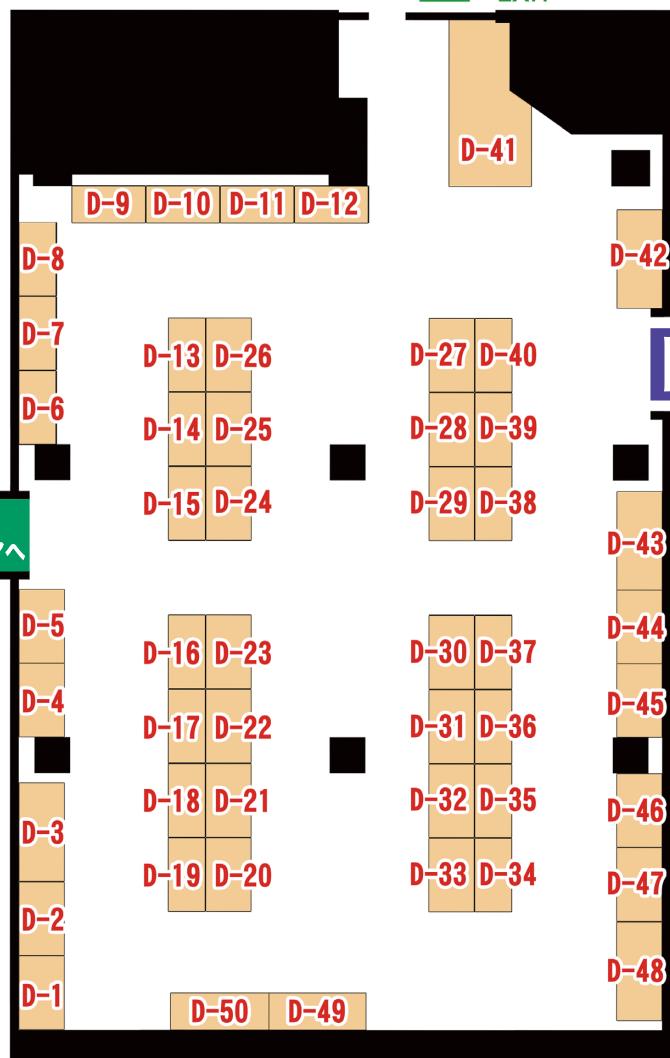
C-20 animalia (土曜出展)
 C-20 (日曜出展)
 C-21 misc.ai (土曜出展)
 C-21 うさぎ石鹼 (日曜出展)
 C-22 (土曜出展)
 C-22 金目銀眼スタジオ (キンメギンメスタジオ) (日曜出展)
 C-23 (土曜出展)
 C-23 ウニの造形美 (日曜出展)
 C-24 hoohoo-mokmok (土曜出展)
 C-24 (日曜出展)
 C-25 数楽しましょ！黄金数と正多面体
 C-26 プリプラ (土曜出展)
 C-26 (日曜出展)
 C-27 INKO-SAN (土曜出展)
 C-27 布ぐるみ tarutaru (日曜出展)
 C-28 理科実験おたすけ隊
 C-29
 C-30
 C-31
 C-32 のこのこ
 C-33 熊猫惑星 (土曜出展)
 C-33 (日曜出展)
 C-34 (土曜出展)
 C-34 ゆのゆの堂 (日曜出展)
 C-35

会場MAP Dフロア



C フロアへ

↑ 非常口
EXIT

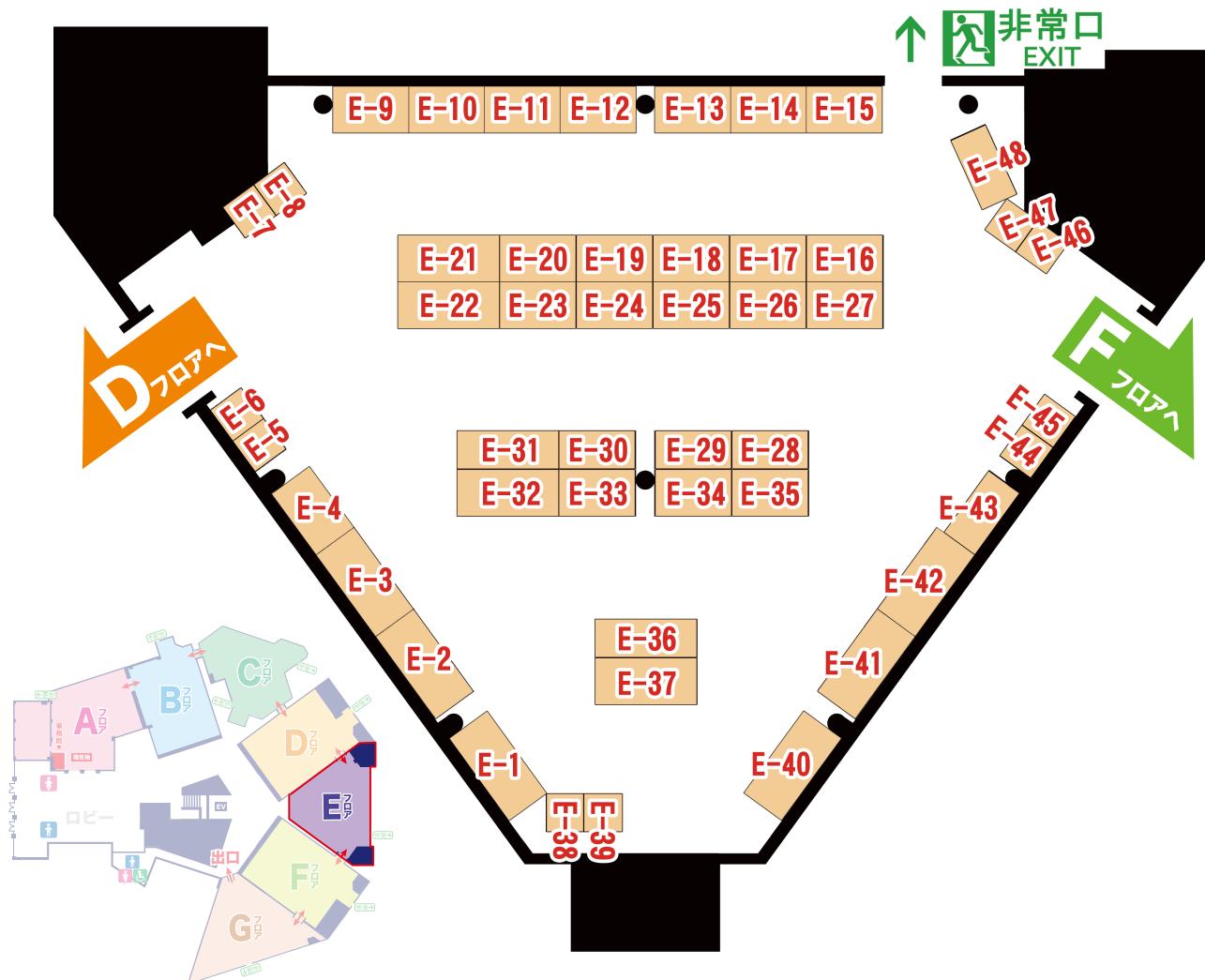


- D-1 アトリエ山鳩
- D-2 Ono-artifact
- D-3 丸与製作所
- D-4 D-5 押野×kengtarō×northern light
- D-5 駅前末屋
- D-6 Crown Berry (土曜出展)
- D-7 (日曜出展)
- D-8 トモロコシ畠(土曜出展)
- D-9 蛙のしっぽ(日曜出展)
- D-10 シカクガング(土曜出展)
- D-11 マンドラゴラ農場(日曜出展)
- D-12 (土曜出展)
- D-13 ジンメンカメムシ(日曜出展)
- D-14 元素カルタ(土曜出展)
- D-15 羽翅屋まつり堂(日曜出展)
- D-16 数学編物(展示出展)
- D-17 ホワイトボードの様に繰り返し書き消し出来る
パーソナル骨モデル標本「描ケルトン」
- D-18 ひとりじゃ、生きられない。
- D-19 ねぎねぎ
- D-20 海のサチ(土曜出展)
- D-21 OTOME研(日曜出展)
- D-22 RABBITISM(土曜出展)
- D-23 ぐろうえっぐ(日曜出展)
- D-24 いぢまゆういち(土曜出展)
- D-25 (日曜出展)
- D-26 さえずり本舗
- D-27 さえずり本舗
- D-28 さえずり本舗
- D-29 さえずり本舗
- D-30 さえずり本舗
- D-31 さえずり本舗
- D-32 さえずり本舗
- D-33 さえずり本舗
- D-34 さえずり本舗
- D-35 さえずり本舗
- D-36 さえずり本舗
- D-37 さえずり本舗
- D-38 さえずり本舗
- D-39 さえずり本舗
- D-40 さえずり本舗
- D-41 さえずり本舗
- D-42 さえずり本舗
- D-43 さえずり本舗
- D-44 さえずり本舗
- D-45 さえずり本舗
- D-46 さえずり本舗
- D-47 さえずり本舗
- D-48 さえずり本舗
- D-49 さえずり本舗
- D-50 さえずり本舗

- D-28
- D-29
- D-30 繁田穂波
- D-31
- D-32 葉々ppyぶらんつ～多肉とこだわり陶器鉢～
- D-33
- D-34 ヨコタケイ(土曜出展)
- D-34 かえる歩道(日曜出展)
- D-35 cometman
- D-36
- D-37 580CLAYPLAY
- D-38 Shima.shima(土曜出展)
- D-38 PROJEWxtsubaki arts(日曜出展)
- D-39 長靴農園(土曜出展)
- D-39 Diver's Stamp Loghan(日曜出展)
- D-40 レトロニモ(土曜出展)
- D-40 しろくまのおともと松橋乃蛙(日曜出展)
- D-41
- D-42 宇宙椅子 cosmic re-chair
- D-43
- D-44 アトリエpuchuco
- D-45 魚屋 天然堂
- D-46 ヘンテコ屋
- D-47 Hamoon
- D-48 サンガツツ本舗
- D-49
- D-50 工房づー

※ブース名ブース数は変わる場合があります。

会場MAP・Eフロア

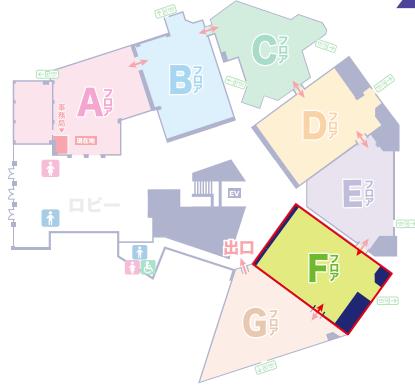


E-1 宇宙をヒトリジメ
 E-2
 E-3 サメティック
 E-4
 E-5 TresPalus (書籍出展)
 (書籍出展)
 E-6 サンズイ舎 (書籍出展)
 (書籍出展)
 E-7 音波屋
 E-8 Tamentai.jp
 E-9 彦左虎肉丸
 E-10 カラカナ生物部
 E-11 野鳥生活
 E-12
 E-13 E-14 E-15 カラカナ生物部
 E-16 野鳥生活
 E-17
 E-18
 E-19 キノシル
 E-20
 E-21
 E-22 カビ宇宙
 E-23 コヤヒロカ
 E-24 E-25
 E-26

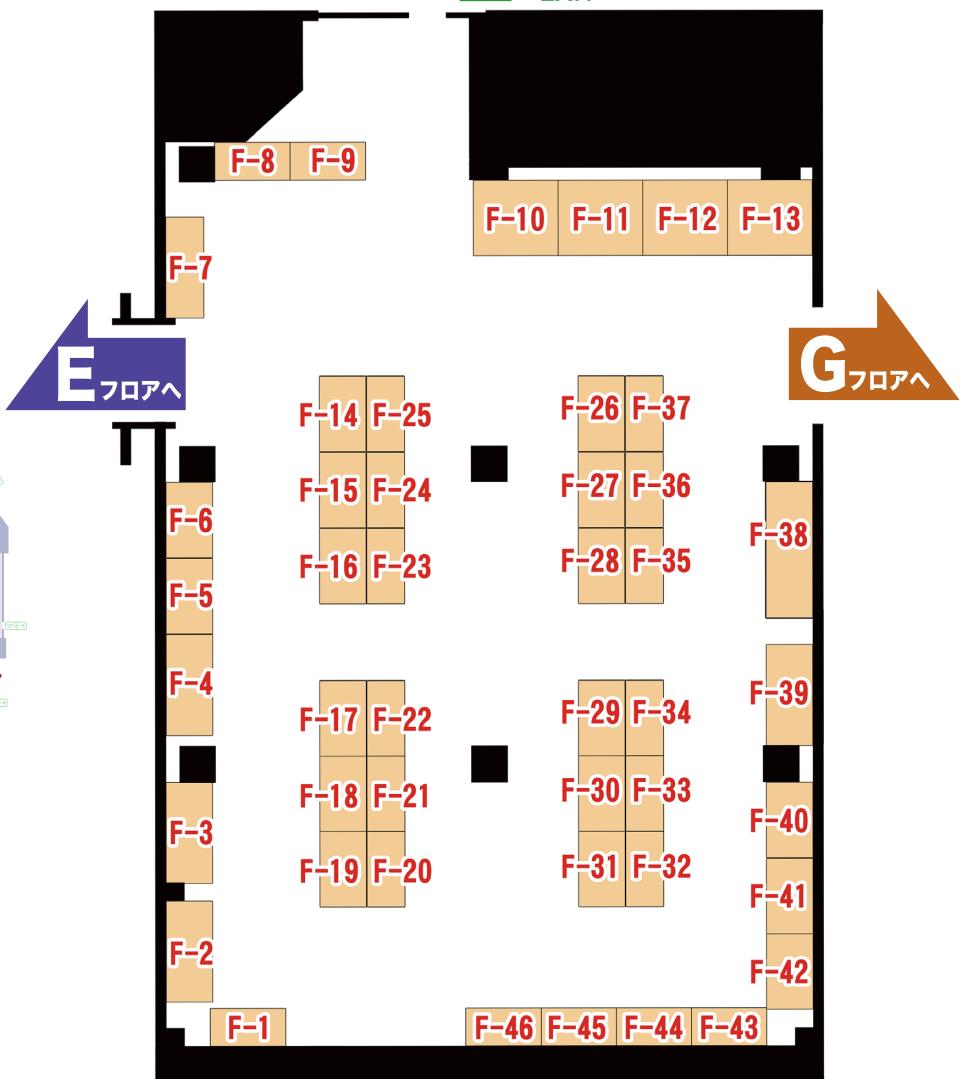
E-27
 E-28 E-29 きやねことmarship
 E-30
 E-31
 E-32 ヒラシママイ
 E-33
 E-34 E-35
 E-36
 E-37 蜜林堂
 E-38 マンガと図解の野菜づくり (書籍出展)
 E-39
 E-40 ZAHANRAD&Lyrical-holic&miroku
 E-41 E-42 カエル工房+菌糸工房
 E-43 じぱんぐ (土曜出展)
 E-44 おやこKujira (日曜出展)
 E-45 恵方巻きコルネ (書籍出展)
 E-46 お台場計算尺 (書籍出展)
 E-47 ヴァイキングあれそれ (書籍出展)
 E-48 植物屋ノタ (土曜出展)
 E-48 (日曜出展)

会場MAP Fフロア

↑ 非常口
EXIT



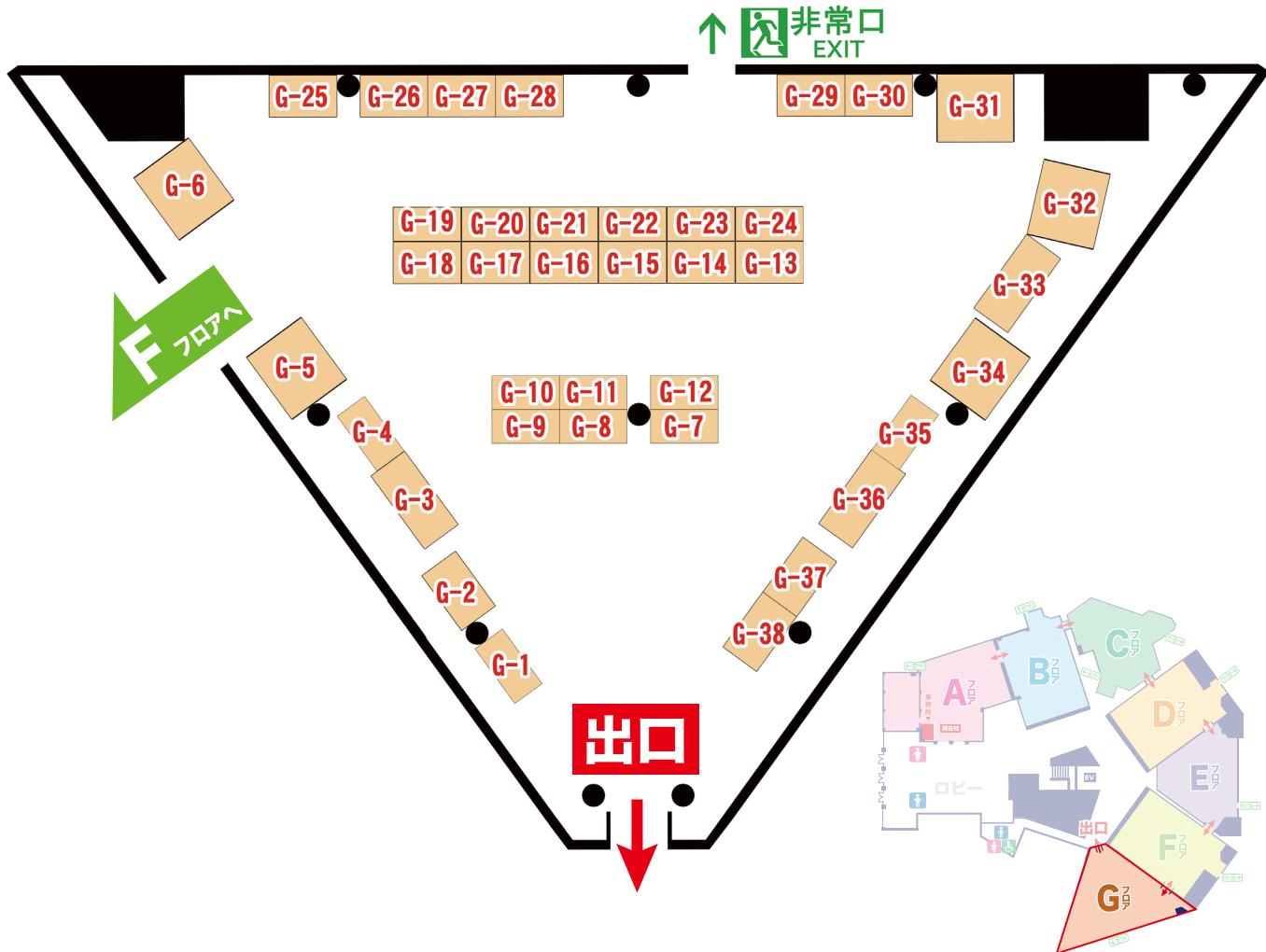
- F-1 (土曜出展)
- F-1 GRUNDERWARD (日曜出展)
- F-2
- F-3 Ateliermary&crazy-noise
- F-4 山眠庵 (やまねあん)
- F-5 木象嵌こばみつ亭
- F-6 段々俱楽部
- F-7
- F-8 (土曜出展)
- F-8 (日曜出展)
- F-9 Aki-lab
- F-10
- F-11 骨
- F-12 生態工房
- F-13
- F-14 おタネもち
- F-15
- F-16 石華工匠
- F-17 うつせみ標本屋
- F-18
- F-19 観察制作屋ちなきのこ
- F-20
- F-21 IroToridori (土曜出展)
- F-21 BOATPUNK (日曜出展)
- F-22 (土曜出展)
- F-22 鉄格子乃人魚 (日曜出展)
- F-23 日本トビネズミ堂本舗 (土曜出展)
- F-23 花彩里-Hanairori- (日曜出展)
- F-24 (土曜出展)
- F-24 (日曜出展)
- F-25 (土曜出展)
- F-25 うさぎとりすと (日曜出展)
- F-26
- F-27
- F-28
- F-29 常葉植物園



- F-30 HOUSO & cobato
- F-31 燈屋feat. 羊毛一期屋
- F-32 生き物小屋 (土曜出展)
- F-32 (日曜出展)
- F-33 林檎屋 (土曜出展)
- F-33 玉屋本舗 (日曜出展)
- F-34 (土曜出展)
- F-34 (日曜出展)
- F-35 (土曜出展)
- F-35 (日曜出展)
- F-36 (土曜出展)
- F-36 たつみ (日曜出展)
- F-37 (土曜出展)
- F-37 toritoiro (日曜出展)
- F-38 カンブリ屋
- F-39 理科はんこ屋さん
- F-40 Keystone工房@弾弓
- F-41 Light-Box
- F-42 ころがりうむ
- F-43 (土曜出展)
- F-43 繩文土器の文様雑貨店 (日曜出展)
- F-44 okometake (土曜出展)
- F-44 のるLAB (日曜出展)
- F-45 恐竜デザイン タモコタモ (土曜出展)
- F-45 開鍋会ヤモリ部 (日曜出展)
- F-46 そっくりモグラ (土曜出展)
- F-46 (日曜出展)

*ブース名ブース数は変わる場合があります。

会場MAP・Gフロア



G-1 (土曜出展)
 G-1 (日曜出展)
 G-2 図鑑T
 G-3 MYHOUSE
 G-4 てんぐアート(土曜出展)
 G-4 (日曜出展)
 G-5
 G-6 GANGU～
 G-7 羊毛の苑～生き物羊毛フェルト～(土曜出展)
 G-7 もちや幸こうぼう(日曜出展)
 G-8 (土曜出展)
 G-8 STUDIO PICKUP. WORKS(日曜出展)
 G-9 silver accessory鷹式(土曜出展)
 G-9 ぎんぺーのしつぽ(日曜出展)
 G-10 nebulografik(土曜出展)
 G-10 (日曜出展)
 G-11 (土曜出展)
 G-11 (日曜出展)
 G-12 (土曜出展)
 G-12 尊い！日本のカエル48図鑑(日曜出展)
 G-13 CRAFTSFARM
 G-14
 G-15 AAYAA
 G-16

G-17 "little shop" × りすマニア
 G-18 島のアトリエKIRARI
 G-19 RINPLA
 G-20 magotaro
 G-21 烏羽玉保存会(土曜出展)
 G-21 キクヒツジタケ(日曜出展)
 G-22 シェイクスピア百人一首かるた
 G-23
 G-24
 G-25 粘土のきのこaiai
 G-26 MINERAL LAB
 G-27 flowstar
 G-28 OmuPasta
 G-29 あやる
 G-30 WOLF PACK HUSKY CLUB
 G-31 なまけもの社
 G-32 埼玉虫工房
 G-33 溪水庵
 G-34 きたむら工房
 G-35 海の宝石や(土曜出展)
 G-35 ～小さながま口屋さん～中田さん家(日曜出展)
 G-36 ビーカーくんとそのなかまたち
 G-37 モスクワ工芸
 G-38 工房やにわに

※ブース名ブース数は変わるものがあります。

出展ブース

あ

燈屋feat. 羊毛一期屋 F-31

アトリエpuchuco D-44

アトリエ山鳩 D-1

あやる G-29

生き物小屋 F-32(土曜出展)

いきもの細密画アートグッズ A-30 A-31

いだまゆういち D-19(土曜出展)

イヌメモリ、ネコメモリ、ウサギメモリ B-23(土曜出展)

医療系雑貨生みたて卵屋 C-1

ヴァイキングあれそれ E-47(書籍出展)

魚屋 天然堂 D-45

うさぎ石鹼 C-21(日曜出展)

うさぎとりすと F-25(日曜出展)

ウシガエル屋と駄菓子屋 B-8(日曜出展)

宇宙椅子 cosmic re-chair D-42

宇宙をヒトリジメ E-1

うつせみ標本屋 F-17

ウニの造形美 C-23(日曜出展)

鳥羽玉保存会 G-21(土曜出展)

海のサチ D-17(土曜出展)

海の宝石や G-35(土曜出展)

梅桃屋&ぐるりん B-31

駅前末屋 D-6

恵方巻きコルネ E-44(書籍出展)

押野×kengtarō×northern lights D-4 D-5

お台場計算尺 E-45(書籍出展)

おタネもち F-14

音波屋 E-9

おやこKujira E-43(日曜出展)

か

海珠堂 A-4

帰ってきたまわるぎんのすけ C-18(土曜出展)

カエル工房+菌糸工房 E-41 E-42

蛙のしっぽ D-8(日曜出展)

かえる歩道 D-34(日曜出展)

笠倉出版社 A-19

仮説社 A-22 A-23

カビ宇宙 E-22

株式会社 文一総合出版 C-17(土曜出展)

カラカナ生物部 E-13 E-14 E-15

体の中の宇宙とミクロの映像 A-7

我流切紙人 B-15

観察制作屋ちなきのこ F-19

カンブリ屋 F-38

キクヒツジタケ G-21(日曜出展)

技術評論社 A-2

きたむら工房 G-34

キノシリ E-19

きやねことmarship E-28 E-29

913WORKS C-15(土曜出展)

恐竜・化石グッズの専門店 ふおつしる A-2

恐竜デザイン タモコタモ F-45(土曜出展)

巨人の目幅と昆虫の目幅-立体視の世界- A-9

ぎんペーのしっぽ G-9(日曜出展)

金目銀眼スタジオ(キンメギンメスタジオ) C-22(日曜出展)

クラゲマイスター★クラフト部 C-4

ぐろうえっぐ D-18(日曜出展)

渓水庵 G-33

元素カルタ D-11(土曜出展)

工房彩陶 B-16

工房ずー D-50

工房西岡 B-1

工房やにわに G-38

55ウォーキング44田 B-24(日曜出展)

580CLAYPLAY D-37

コヤヒロカ E-23

ころがりうむ F-42

さ

3.4.4.3 C-17(日曜出展)

埼玉虫工房 G-32

さえずり本舗 D-20

サザエハウス C-15(日曜出展)

サメティック E-3

サンガツツ本舗 D-48

サンズイ舍 E-7(書籍出展)

シェイクスピア百人一首かるた G-22

シカクガング D-9(土曜出展)

繁田穂波 D-30

じばんぐ E-43(土曜出展)

島のアトリエKIRARI G-18

事務局 A-1

縄文土器の文様雑貨店 F-43(日曜出展)

植物屋ノタ E-48(土曜出展)

しろくまのおともと松橋乃蛙 D-40(日曜出展)

シンプルパッチsasa A-3

ジンメンカムシ D-10(日曜出展)

数学編物 D-13(展示出展)

数楽しましょ！黄金数と正多面体 C-25

図鑑T G-2

スリットアニメーションコム D-24

生態工房 F-12

正多面体クラブ & あうるの森 A-8

石華工匠 F-16

そっくりモグラ F-46(土曜出展)

た

たつみ F-36(日曜出展)

玉屋本舗 F-33(日曜出展)

淡水微生物図鑑 A-10

段々俱楽部 F-6

～小さながま口屋さん～中田さん家 G-35(日曜出展)

鉄格子乃人魚 F-22(日曜出展)

てんぐアート G-4(土曜出展)

展翅屋工房 C-3

てんとうや B-22

尊い！日本のカエル48図鑑 G-12(日曜出展)

透明な世界 B-12

常葉植物園 F-29

栎木屋工房 C-2

トモロコシ畠 D-8(土曜出展)

鳥が好きだ B-30

トリドリマルドリ C-16(日曜出展)

な

長靴農園 D-39(土曜出展)

中澄香織 C-16(土曜出展)

七つ森 B-8(土曜出展)

なまけもの社 G-31

日本トビネズミ堂本舗 F-23(土曜出展)

縫月堂 B-23(日曜出展)

ぬくぐるみ工房 B-25(日曜出展)

布ぐるみ tarutaru C-27(日曜出展)

ねぎねぎ D-16

ねじ工房 B-32

粘土のきのこaiai G-25

のこのこ C-32

のるLAB F-44(日曜出展)

は

パイライスマイル A-5 A-6

はっぴーす B-26(土曜出展)

葉ツッpyぱらんつ～多肉とこだわり陶器鉢～ D-32

花彩里-Hanairori- F-23(日曜出展)

羽工房～はね語り風語り～ D-26

羽翅屋まったく堂 D-11(日曜出展)

ぱらぱらミクロ B-33

はる☆どり C-12

熊猫惑星 C-33(土曜出展)

ビーカーくんとそのなかまたち G-36

彦左虎肉丸 E-11

ひとりじや、生きられない。 D-15

ヒラシママイ E-32

プリプラ C-26(土曜出展)

平日美術館 C-9(日曜出展)

ヘンテコ屋 D-46

骨 F-11

骨のある部屋 B-9(日曜出展)

ぼぶず B-28

ホワイトボードの様に繰り返し書き消し出来るパーソナル骨モデル標本「描ケルトン」 D-14

ま

真工房 D-22

丸与製作所 D-3

マンガと図解の野菜づくり E-38(書籍出展)

マンドラゴラ農場 D-9(日曜出展)

※ブース名ブース数は変わることあります。

F

蜜林堂 E-37
 みのむし商店 C-14
 実袖季のまつげ B-25(土曜出展)
 明星堂 B-11

木象嵌こばみつ亭 F-5
 モスクワ工芸 G-37 もちや幸こうぼう G-7(日曜出展)

や
 野鳥生活 E-16
 山眠庵(やまねあん) F-4

閻錫会ヤモリ部 F-45(日曜出展)

ゆのゆの堂 C-34(日曜出展)
 妖毛thetho C-19(土曜出展)
 羊毛の苑～生き物羊毛フェルト～ G-7(土曜出展)
 羊毛フェルトあど～ちん B-17
 ヨコタケイ D-34(土曜出展)
 よねざわなみ D-25

ら
 理科実験おたすけ隊 C-28
 理科はんこ屋さん F-39

林檎屋 F-33(土曜出展)
 レトロニモ D-40(土曜出展)

ロボット工房のらとりえ B-4

A
 AAYAA G-15
 Aki-lab F-9

 animalia C-20(土曜出展)

Ateliermary&crazy-noise F-3

B
 BanMof C-13(日曜出展)
 BOATPUNK F-21(日曜出展)

C
 CASA del DEGU B-2

charie B-5
 CHUPRO B-13
 cometman D-35

 CRAFTSFARM G-13
 Crown Berry D-7(土曜出展)

D
 Diver's Stamp Loghan D-39(日曜出展)

dubhe(ドゥーベ) A-15

E
 Effe* C-10

G

flowstar G-27

 GANGU～ G-6
 GEAD B-7
 GreenFlash A-26
 GRUNDERWARD F-1(日曜出展)

H
 Hamoon D-47

hoohoo-mokmok C-24(土曜出展)
 HOUSO & cobato F-30

I
 INKO-SAN C-27(土曜出展)
 IroToridori F-21(土曜出展)

K
 KABUTO B-6
 kerofull C-19(日曜出展)
 Keystone工房@弾弓 F-40

L
 Lepidopterite B-26(日曜出展)
 Light-Box F-41
 "little shop" × りすマニア G-17

M
 magotaro G-20
 Mai.Yamashita C-6 C-7
 MINERAL LAB G-26
 misc.ai C-21(土曜出展)
 MODE DE GALAXIE A-12

MYHOUSE G-3

N
 nebulografik G-10(土曜出展)

 NOBchanchyn B-19

O
 oba:oba + kerocco B-21
 okometake F-44(土曜出展)
 OmuPasta G-28

 Oono-artifact D-2
 OTOME研 D-17(日曜出展)

P

planevia B-20
 PROJEWxtsubaki arts D-38(日曜出展)

R
 RABBITISM D-18(土曜出展)
 RINPLA G-19

S
 Shima.shima D-38(土曜出展)
 silver accessory鷹式 G-9(土曜出展)

STUDIO PICKUP.WORKS G-8(日曜出展)

T
 Tamentai.jp E-10

toritoiro F-37(日曜出展)
 TresPalus E-5(書籍出展)

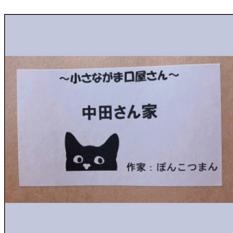
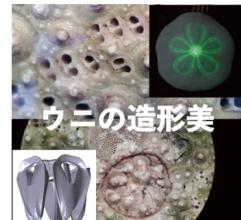
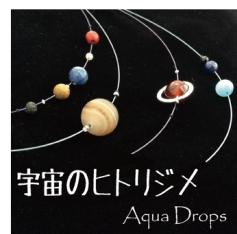
V
 vivo / 生物学画舫 A-21

W
 WAVE TALE ~Atlantis~ B-9(土曜出展)
 WOLF PACK HUSKY CLUB G-30
 Wolves&Me C-8

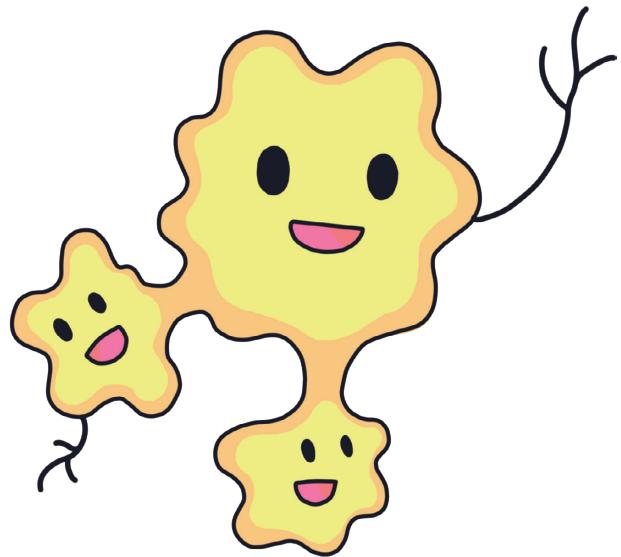
Y
 Yukiyanagi—ユキヤナギ— C-18(日曜出展)

Z
 ZAHANRAD&Lyrical-holic&miroku E-40
 ZUCKER A-17

出展ブースミニ広告



チラシ配布、ご協力ありがとうございました。



博物ふえすていばる!7

【イベント】

会期 2021年9月11日・12日

会場 科学技術館

主催 株式会社 マッチスティック

<https://www.hakubutufes.info>
info@hakubutufes.com

入場料

前売り電子チケット: 1,400円

前売り紙媒体チケット(チケットぴあ): 1,500円

【パンフレット】

発行・編集 博物ふえすていばる!運営

企画・制作にご協力いただいた方々（順不同）

矢島由佳 様、高橋健 様

デザイン・レイアウト 菅原 紫穂

このパンフレットは協賛広告費によって制作されております。

黒い本が 古生物の 再び始まる

生命の進化で
特に重要なポイントに着目し、
その興亡の歴史を
描き出すシリーズ

来場者特典

会場(ブースA2:ふおつしる)で
書籍をご購入いただいた方には、
著者のサインを入れることも
可能です!



ゼロから楽しむ 古生物 姿かたちの移り変わり

土屋 健 ● 土屋 香 イラスト 芝原暁彦 監修



The Rise and Fall
of Paleoorganisms
in Waterfront
技術評論社